

(別表)第二次和歌山県消費者教育推進計画 団体等の取組

資料3

番号	団体名	取組名	内容	令和2年度実績	令和3年度予定
①	NPO法人消費者サポートネット和歌山	セミナー開催	消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会づくりに寄与するため、毎年1月と5月に、その年の関心の深いテーマを選んで一般対象向けにセミナーを開催。	SDGSの取組について”私たちの消費が未来を変える”というテーマで開催予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のために中止。	5月22日総会記念講演会実施 ”バイデン政権下の日米関係”同志社大学 村田見嗣教授 オンライン会場・リモート参加 計30名 令和4年1月 実施予定
		出前講座	消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会の一員として自ら考え、行動できるよう、各年代(小学校・中学校・高校・支援学校・大学・一般)に応じた消費者教育・消費者啓発講座を実施。	県内5校で実施 310名、一般20講座実施 420名	2校実施済、県内10校・一般対象30講座実施予定
		見守り育成事業	高齢社会の中で地域で見守り活動を行う人材を育成。	橋本市くらし応援隊育成事業11名、社会福祉協議会110名、民生児童委員協議会及び老人クラブ連合会はコロナ感染拡大防止のため中止。	橋本市くらし応援隊育成事業、民生児童委員協議会、社会福祉協議会他
		情報発信事業	消費生活等に関する情報発信により、消費者被害の防止を図り、自立した消費者を目指す。	年3回、”くらしの情報アンテナ”を発行。テレビ和歌山・和歌山放送に出演。	5月、NHK和歌山に出演。年3回、”くらしの情報アンテナ”を発行予定。
②	和歌山県生活協同組合連合会	消費者啓発講座・学習会	消費者が安全で安心なくらしが営めるよう、消費者市民社会の形成に向けた学習会の開催や他団体の企画に協力、参加する。	「和歌山県地域福祉推進計画」を学ぶ学習会を開催。(参加22人) 消費者ネットワークわかやまの世話人としてとりくみに主体的に協力、参加。 公開学習会、啓発講座、消費者行政ヒヤリング調査など。 消費者支援機構関西KC'sのシンポジウム(双方向コミュニケーション研究会)に参加。	消費者ネットワークわかやまの世話人としてとりくみに主体的に協力、参加。 公開学習会、啓発講座、消費者行政ヒヤリング調査など 消費者支援機構関西KC'sのシンポジウム(特定商取引法の改正について考える)に参加。
		消費者啓発 こども食の貧困への支援(消費者市民社会の構築)	誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について学び行動し、安心して安全な地域社会をめざす一環。 ひとり親世帯などで子ども食堂を利用する人々への食の支援。	初めてフードドライブにとりくみ、NPOこども食堂わかやまを通じて、県内のこども食堂を利用されている方々や一人親世帯へ配布した。 会員生協から集まったフードドライブの食品 3,689点	フードドライブを実施し、NPOこども食堂わかやまなどを通じて、県内のこども食堂を利用されている方々や一人親世帯へ配布する予定。
		生協連ニュースの発行	発行する広報誌に消費者被害の事例を掲載することで消費者被害の防止を図る。	9月、3月の年2回発行、消費者センター発行の消費者被害の事例を掲載した。	年間3回発行し、消費者センター発行の消費者被害の事例も掲載する。
		和歌山大学経済学部寄付講義で授業を担当	和歌山県労協による寄付講義で講師を務め、学生に消費者教育の一環として協同組合を知らせる	コロナウイルス感染症の影響により、講義中止。	3回の寄付講義を担当。学生に消費者知識として、協同組合とは、協同組合主義、協同組合の役割を学んでもらうとともに、世界、日本、和歌山県の協同組合の現状を学んでもらう。
		SDGs学習会の開催	和歌山県協同組合組織連絡会として確認した「SDGsの取り組みに向けた申し合わせ」を基本に学習会を開催。また、日本協同組合連絡会に結集し、協同組合、生活協同組合の社会的役割を考え、実践を学ぶことから持続可能な社会を目指す。	和歌山県協同組合組織連絡会の主催学習会等に構成団体として、7月に第14回国際協同組合デーin和歌山の記念講演として「世界を変革する地域の力SDG'sについて考える」を開催。8月には「SDG'sってなんだ？」学習会を開催しました。日本協同組合連絡会の講演会、交流会を視聴し、全国の協同組合のSDGsにそったとりくみを学んだ。	7月に第15回国際協同組合デーin和歌山を開催記念講演「協同組合の果たす役割」を開催、10月に学習会を開催予定。
		認知症サポーター養成研修受講	地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」をつくる「認知症サポーター養成講座」の講師役「キャラバン・メイト」の養成研修の受講について会員生協に呼びかけ	実績なし。	行政等の講座開催に呼応して、会員生協に案内します。また、「認知症サポーター」、「キャラバン・メイト」についての啓発、広報に努める。
		(消費者啓発) 生協大会記念講演	社会のデジタル化に対応した消費者教育として、また、消費者一人一人の豊かな生活を目指して、テーマ「DXってなあに?~わたしたちのくらしはどうなるの~」として講演会を開催。	生協大会は開催したが、コロナ感染拡大防止のため記念講演は実施できなかった。	2021年11月26日(金)記念講演14時20分~15時50分 講師 工藤郁子氏(大阪大学社会技術共創研究センター招へい教員/世界経済フォーラム第四次産業革命日本センタープロジェクト戦略責任者/東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員。専門は情報法政策。現在、一般社団法人日本ディーラーリング協会(JDLA)有識者会員、ISO/PC317 国内審議委員会委員等も務める。共著に、『AIと憲法』、『ロボット・AIと法』など。)
		消費者啓発 大学生への食の支援(消費者市民社会の構築)	誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について、学び行動し、安心して安全な地域社会をめざす一環として、コロナ禍の中、多くの大学生が生活困窮に陥っている状況にある学生への食の支援を実施しました。	和歌山大学消費生協、県立医科大学生協と連携し、レトルトカレーや缶詰など8品の食品を2000人分用意し、寮生及び大学生協の食堂で配布しました。	生活に困る学生への食の支援を予定。

番号	団体名	取組名	内容	令和2年度実績	令和3年度予定
③	わかやま市民生活協同組合	1日エコライフ	自分たちができることから楽しく家庭で省エネについて考える啓発のため、エコライフチャレンジシートの取組を実施。	一日エコライフ夏(8月)参加人数: 3,413人 減らせたCO ₂ :627kg 一日エコライフ冬(2月)参加人数: 11,719人 減らせたCO ₂ :2161kg	2021年8月と2022年2月に実施予定
		消費者啓発講座・学習会	消費者被害のない、だれもが安心して暮らすことのできる和歌山県の地域づくりに向けて、消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座を開催。また、消費者市民社会の形成に関するCSR活動を行います。	9月19日公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」を開催。 9月24日～10月16日に和歌山県消費生活センター相談員に講師を依頼し、和歌山市、紀の川市、田辺市、海南市で消費者啓発講座「最新の消費者トラブルと対処法」を実施。	8月21日公開学習会、他啓発講座を実施予定。
		わがまち調べ活動	私たちの住む街のことを知り、くらしを見直すため、防災や環境、福祉、消費者行政などをテーマに和歌山県全市町村を訪問し、意見交換を実施。	2020年9月～2021年1月 和歌山県下24市町村を訪問 「消費者行政」「防災」「環境(ごみ)」「環境(SDGS)」参加のべ112人 「消費者トラブルのお話」 参加15人	9月～10月「消費者行政」9市で調査予定。9月から「防災」「環境」等を調査予定。
		食の安全に関する学習会	食の安全の取組について学ぶため、わかやま市民生活協同組合の商品政策に基づいた食の安全に関する学習会を開催。	食の安全の取り組み及び、商品のお申し出対応に関する学習会を行った。	食の安全YouTubeライブ「気になる食の不安情報 その正体」を開催。
		エシカル消費のとりくみ	持続可能な社会の実現を目指して、エシカル消費の学習会を実施。	地域で学習会を開催。第3回橋本市消費者交流会に参加しエシカル消費を紹介など。	地域で学習会を開催。12月には紀州っ子アドベンチャーフェスタに参加し、エシカル消費を考えるイベントを開催予定。
		防災のとりくみ	地震や台風など自然災害の発生に備え、地域で防災のとりくみを開催。	地域で防災のとりくみや学習会を開催。他団体と連携した防災訓練等に参加した。	地域で防災のとりくみや学習会を開催。他団体と連携した防災訓練等に参加を予定。
		子育て支援としての親子参加型のとりくみ	未就園児とそのお母さんなど子育ての世代の方々が交流できる場を開催。	実績なし。	2021年10月より「はじまるばこ」のとりくみを開始予定。
④	消費者ネットワークわかやま	消費者問題学習会	誰もが安心して和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、啓発講座を開催。	消費者啓発講座を9月から11月に和歌山県消費生活センター相談員に講師を依頼し、和歌山市、紀の川市、田辺市、海南市で消費者啓発講座「最新の消費者トラブルと対処法」を開催	「成人年齢引き下げ、若者の消費者トラブルの実態」と題し10月13日橋本市 10月18日御坊市 10月25日有田市 啓発講座開催予定
		消費者行政ヒアリング調査	誰もが安心して和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、消費者行政ヒアリング調査を実施。	9月～10月に「消費者行政」調査で9市に訪問した。	9月～10月に「消費者行政」を9市で調査予定。
		公開学習会	誰もが安心して和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、公開学習会を開催。	9月19日第1回公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」を開催。 2月に第2回公開学習会「これからどう付き合っていく?」with 銀行 金融商品キャッシュレス～	8月21日第1回公開学習会「成年年齢18歳に引下げで、変わること、知っておきたいこと」を開催。 12月第2回公開学習会予定。
⑤	和歌山県くらしの研究会	生活文化セミナー、機関誌発行	自立した消費者を目指し、機関誌の発行、街頭啓発へ協力、生活文化セミナーを開催、記念講演会を開催。	新型コロナウイルスの影響により、各種イベントは中止。 機関誌発行のみ実施。	機関誌発行
⑥	和歌山県食生活改善推進協議会	出前講座	地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、各年代に対し、食育教室、料理教室、健康づくり教室を開催。	・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:15回415人 ・単身男性を対象とした料理教室:2回22人 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:2回22人	・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:13回 ・単身男性を対象とした料理教室:3回 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:4回
		啓発	地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、啓発活動を実施。	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止(5/31)	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止(5/31)
⑦	(一社)和歌山県LPガス協会	人を育むLPガス(子供たちへの火育・食育活動)	炎を扱うプロとして、火育・食育を通して人と食の文化を子供たちに伝える。	新型コロナウイルス感染症拡大のため10月に予定していた「ふれあいLPガスフェア」が中止となり、実施しなかった。	令和3年度もコロナ禍でフェアーは中止。
		LPガス快適生活向上運動	高齢者のみで生活する家庭を対象に使用中のLPガス器具の点検を行い、「もっと安全さらに安心」を啓発する。	1,066戸の高齢者家庭を訪問し、安全点検を実施するとともにお困りごとの相談にも対応した。	高齢者のみで生活する家庭を訪問し、使用中のLPガス器具の点検と身の回りのお困りごとの相談に応じる。
⑧	(一財)和歌山県老人クラブ連合会	研修会・啓発資料配布	高齢者に対し、消費生活に関する情報の提供、消費者教育・啓発活動を推進して、高齢者の消費者被害の未然防止・拡大防止及び早期発見を目指し、研修会の開催、啓発資料の配布。	6月、7月に参加した女性部会において、消費者問題について県下市町村老連に周知や取り組みの推進を図った。11月に59名参加した、市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催し基調説明や中央会議報告により消費者被害の未然防止につなげた。	11月に市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催予定。

番号	団体名	取組名	内容	令和2年度実績	令和3年度予定
⑨	花王株式会社(花王エコーボミュージアム)	環境活動の情報発信と啓発	地球環境に配慮したモノづくりを目指す花王のエコ技術の情報発信のため、先端のエコ技術を体験する施設を開設。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、見学に制限があったため。小学校社会科見学に対しては、代替として、教材提供とオンライン配信を実施。	新型コロナウイルス感染拡大の影響に考慮し、見学を制限し、小学校の社会科見学に対して教材提供とオンライン配信を実施。
⑩	和歌山県漬物組合連合会	梅干しで元気！！キャンペーン	日本古来の代表的な加工食品であり、県特産品である「梅干し」の歴史、生産方法や機能性などを小学校、特別支援学校の児童に学んでもらうことで、梅干しを一層身近なものとして食する習慣を養うとともに、一人ひとりが自分の食について関心を持つ契機とするため、県内小学校に学習教材を配布、梅干しの贈呈、出前授業を実施。	県内251校で実施した。	県内249校を対象に、10月実施予定
⑪	和歌山弁護士会	出前講座	架空請求、マルチ被害などの消費者被害にあわないための心構え、法的観点、対処法を伝えるため、出前講座を実施。	県下の学校1校から申し込みがあり、実施した。	出前講座実施の案内はしており、申し込みがあれば実施する。
		児童養護施設退所者等アフターケア事業	児童養護施設の高校生向け授業(生活技術講習)の中で、毎年、消費者問題を取り上げている。	新型コロナウイルスの影響により中止。	現在未定。
⑫	和歌山県司法書士会	高校生等法教育事業	高校生等が、大学や専門学校進学、就職等、社会に出たのにトラブルに巻き込まれないように、契約の基礎知識、クレジットカード、ネットショッピング、悪徳商法、多重債務問題、ブラックバイトや労働問題のトラブルに遭遇した時の対処方法についてを司法書士を派遣し講義を実施している。特に本年度は成人年齢18歳引き下げに伴い、1、2年生への講義も視野に入れて行う予定。	コロナウイルス感染症のため未実施	WEB講義による実施を検討中
⑬	(一社)和歌山県不動産鑑定士協会	無料相談会	不動産鑑定制度への理解と周知を図るため、不動産の有効利用や不動産の評価等について無料相談を実施。	4回開催	4回開催予定